

令和6年度 第1回学校運営協議会記録

1. 日時

令和6年5月20日（月）13:20～15:10

2. 場所

本校 校長室

3. 出席者

大阪教育大学教授 廣木義久

八尾市内学習塾代表 児玉隆

八尾市立成法中学校校長 小山健治

八尾市立八尾小学校校長 浅野貴至

本校PTA会長 大西景子

本校

校長 山上浩一 教頭 中村泰造 事務長 百軒由香子 首席 水野道尚・久世逸平

教務主任 岡野佳保里 進路指導主事 久米祥子 1学年主任 藤本一典

3学年主任 村上典子 傍聴者 赤尾馨太

4. 協議概要

協議に先立って、授業観察、本協議会の委員長の選出、本委員会の実施要領の確認を行いました。その後「令和6年度学校経営計画」の基本方針、スクール・ポリシー、今春の進路状況や進路指導方針、新入生アンケート結果の分析等に関して協議を行いました。以下は、出席委員からの主な意見です。

- ① 多くの生徒は予習をする経験がないので、予習をどのようにしたらいいかわからないと感じている。その点を踏まえて指導していく必要がある。
- ② 過去数年間の数値だけをもって進学実績を評価することは難しいが、長期的なスパンで捉えると進学実績は確実に良くなっている。それを踏まえて、生徒ががんばっている姿を交えながら学校説明会で説明してみてもどうか？
- ③ アドバンス教員コースの発足から10年以上経ち、当時と比べて大きく社会・生徒が変わった。これに対応するため、向こう10年を見据えて本コースの内容を刷新し、充実させていく必要がある。
- ④ 本校の生徒は明るく挨拶をよくしてくれる。だからこそその良さを知ってもらうため、オープンスクールなどで生徒に説明させてみてはどうか？
- ⑤ 教科横断的な学びや情報分析能力の育成にあたって学校側のサポートがあると、保護者としては安心です。